

No. 85

3月定例会

令和8年5月22日発行

やまなし

市議会

だより

目次

定例会の概要・議会構成	2
議案等審議結果	3
代表質問	4~6
一般質問	7~12
常任委員会報告	13~15
議会活動目誌・編集後記	16

歳入歳出総額 273 億 8,200 万円（合併以後、最大規模の予算額）とする、令和8年度山梨市一般会計予算など 49 案件を可決しました。

令和8年4月4日 第52回信玄公祭り

3月定例会の概要

市長から提案された条例改正、令和7年度一般会計補正予算、令和8年度一般会計予算などの審議を行いました。

議案第26号

令和8年度山梨市一般会計予算

歳入歳出総額273億8,200万円、対前年度比8.67%増、金額では21億8,400万円の増額となり、前年度に引き続き合併以後、最大規模の予算額となる。

【主なもの】

- (総務費) 50億5,294万円余
まちづくり公社設立検討事業、ふるさと納税事業など
- (民生費) 70億1,727万円
保育園等の主食費・副食費無償化事業、自立支援介護給付費など
- (衛生費) 15億6,686万円余
新し尿処理施設の稼働、市立牧丘病院指定管理料など
- (農林水産業費) 8億6,937万円余
農業用機械等購入補助金、有害鳥獣処理施設整備事業など
- (土木費) 28億2,955万円余
道路・水路の維持補修費、アザレアタウン整備事業、市営住宅外壁改修事業など
- (消防費) 8億8,075万円余
消防施設整備事業など
- (教育費) 26億6,507万円余
給食費無償化事業、教材費無償化事業、笛川学園施設整備、後屋敷小学校・八幡小学校プール解体工事、市民総合体育館大規模改修事業など

新しい議会構成決まる

令和8年3月定例会において、各委員会の委員の選任等が行われました。各常任委員会、議会運営委員会、組合議会議員及び会派構成については下表のとおりです。

※3月24日現在

◎委員長 ○副委員長 ◆総務常任委員会 ◎岩崎友江 ○糠信平 清水和美 萩原弥香 藤巻豊彦 村田浩		◆建設経済常任委員会 ◎根津和博 ○長沼和人 榎野雅敏 星野洋 矢崎和也 深沢敏彦		◆教育民生常任委員会 ◎木内健司 ○天野有紀 向山輝 遠山雄二 島村雅美 土屋裕紀		◆議会運営委員会 ◎村田浩 ○藤巻豊彦 長沼和人 清水和美 矢崎和也 土屋裕紀		◆組合議会議員 〈東山梨行政事務組合議会議員〉 向山輝 天野有紀 清水和美 矢崎和也 土屋裕紀 根津和博 岩崎友江 村田浩		〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉 遠山雄二 長沼和人 島村雅美 藤巻豊彦 〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉 萩原弥香		〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉 星野洋 深沢敏彦	
サンリ・みらい	日本共産党	公明党	新翔会	尚志会	赤松の会		会派構成(○は代表者)						
○星野洋	○糠信平	○木内健司 萩原弥香	○矢崎和也 土屋裕紀 根津和博 遠山雄二	○藤巻豊彦 岩崎友江 向山輝 長沼和人 天野有紀	○村田浩 深沢敏彦 榎野雅敏 島村雅美 清水和美								

令和8年3月定例会議案等審議結果

3月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成

反：原案に反対

棄：棄権

/：欠席）

議案 番号	件名	議員名																審議 結果	
		遠山雄二	糠信平	天野有紀	長沼和人	榎野雅敏	島村雅美	清水和美	星野洋	矢崎和也	土屋裕紀	根津和博	木内健司	萩原弥香	藤巻豊彦	岩崎友江	深沢敏彦		村田浩
第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度山梨市一般会計補正予算（第8号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度山梨市一般会計補正予算（第9号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第3号	山梨市手話言語の普及の推進に関する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第4号	山梨市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第5号	山梨市中村美恵子育英基金条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第6号	山梨市旧市役所跡地多目的広場設置及び管理条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第7号	山梨市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第8号	山梨市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第9号	山梨市特殊勤務手当てに関する条例を廃止する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第10号	山梨市手数料条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第11号	山梨市家庭児童相談室設置条例を廃止する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第12号	山梨市戸別合併処理浄化槽の管理に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第13号	山梨市準用河川占用料徴収条例の一部改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第14号	山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第15号	山梨市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第16号	山梨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第17号	山梨市情報公開条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第18号	令和7年度山梨市一般会計補正予算（第10号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第19号	令和7年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第20号	令和7年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否決
第21号	令和7年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第22号	令和7年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第23号	令和7年度山梨市水道事業会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第24号	令和7年度山梨市簡易水道事業会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第25号	令和7年度山梨市下水道事業会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第26号	令和8年度山梨市一般会計予算	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第27号	令和8年度山梨市国民健康保険特別会計予算	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第28号	令和8年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第29号	令和8年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第30号	令和8年度山梨市浄化槽事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第31号	令和8年度山梨市介護保険特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第32号	令和8年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第33号	令和8年度山梨市活性化事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第34号	令和8年度山梨市諏訪財産区管理会特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第35号	令和8年度山梨市西保財産区管理会特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第36号	令和8年度山梨市水道事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第37号	令和8年度山梨市簡易水道事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第38号	令和8年度山梨市下水道事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第39号	令和8年度山梨市病院事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第40号	山梨市過疎地域持続的発展計画の策定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第41号	山梨市道の路線認定及び変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第42号	市有財産（金地金）売買契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第43号	山梨市民スポーツ広場設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第44号	山梨市副市長の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第45号	山梨市固定資産評価員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第46号	山梨市教育委員会委員の任命について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第47号	山梨市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第48号	山梨市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第49号	山梨市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
請願 第1号	所得税法第56条廃止に関する意見書の提出を求める請願書																		審議 継続



問 旧保健農園ホテル「フフ」の今後について

運営業者の撤退後、2度の入札を行っている。

①契約に至らなかった要因は何か伺う。②本施設の在り方についてどのように考えているのか、また、今後の対応を伺う。

市長 高木晴雄

答 ①第一に、施設の老朽化に伴う改修に要する初期投資の大きさと考える。大規模な初期投資が事業採算の見通しを厳しくし、最終的な投資判断に至らなかったと考えている。第二に、国際情勢や感染症の影響などの外部環境の不確実性が、収益予測を困難なものとしたと考える。これら

の要因などで、契約締結に至らなかったと分析する。②今後については、利用者の安全対策を優先的に対応し、事業者が参入しやすいような条件を整備した上で、公募型プロポーザルを実施していく。

問 人口減少対策について

①県では日本人が転出超過となった事に対し、外国人は転入超過となっているが、本市の状況を伺う。②県では20歳から24歳までの女性の転出者数が多くなっているが、本市の状況を伺う。③どのような人口減少対策を講じていくのか。特に若者世代への対策について伺う。

市長 高木晴雄

答 ①令和7年中の日本人の転入者は784人、転出者は839人で、55人の転出超過であり、外国人転入者は136人、転出者は82人で、54人の転入超過である。②令和6年の人口移動報告によると、女性の転出者416人のうち20歳から24歳の女性転出者は102人であり、高い割合を

示している。③今年度策定した「地域ブランディング戦略」を踏まえ、リニア中央新幹線の開業を見据えた定住促進を図るとともに、アザレアタウン整備や駅南口周辺整備などの大規模な都市基盤整備と連動した計画策定を考えている。特に若者や女性に選ばれるまちづくりを推進し、子育て環境の向上を通じて、若年層の定着を目指していく。教育面・医療面・子育て支援・産業振興・移住定住など、あらゆる面から、若者に「住んで良かった」と実感できる魅力あるまちづくりを目指していく。

問 ちどり湖の有効活用について

流入した土砂に埋まっている北側の池については、埋め戻して市民会館利用者のための駐車場として整備したらいかがか。

農林課長 根津昭彦

答 差出堰利用地域では果樹栽培が主流となったため、「農業用温水ため池」としての役割は終わっている。堆積土を場外へ搬出するのではなく、下部の池を浚渫して上部の池へ移設し埋め立て整地することで、約200台分の駐車場のスペースが確保できる

よう準備を進めている。下部の池は従来どおり「ちどり湖」として、散策路や休憩施設等により日常的な憩いの場としての機能を維持していく。

＜その他の質問＞

- 令和8年度一般会計当初予算の特徴について
- 人材育成と人材活用について
- 義務教育学校「笛川学園」開校の意義と期待について
- 文化財の保存と活用について



▲ちどり湖上池



問 農業用資機材に対する支援策について

①ふるさと納税寄附の大きな原動力となっている特産果実の生産量の拡大に関して、どのような対策を講じるか。また、何か普及に向けた支援などを考えているか伺う。②特産果実を効率的に生産するため、昨今の物価高騰事情も踏まえて、農業用資機材などに対する支援策の拡充について、考えがあるか伺う。

市長 高木晴雄

答

①令和8年度より新たに、栽培に必要な農業用資材の購入に対するための補助制度を創設する。具体的には、特定品種の着色を促進するための反射シート

答

① 駅南地域一帯のまちづくりを進めるうえで、土

市長 高木晴雄

問

山梨市駅南地域の整備構想について

①山梨市駅南地域のまちづくりについて、事業エリアの選定などまちづくりの方針をどのように考えているか伺う。②山梨市駅南地域の道路整備について、どのように考えているか伺う。

答

① 駅南地域一帯のまちづくりを進めるうえで、土

問

有害鳥獣の駆除・被害防止対策について

①山梨市鳥獣被害防止計画の策定状況はどのようになっているか伺う。②河川内のドローンによる調査結果と、河川内に棲みつくシカ等への対策をどのように講じているか伺う。

農林課長 根津昭彦

答

①平成23年度に山梨市鳥獣被害防止計画を策定し、3年ごとに計画見直しを行っている。今年度に見直しを行い、現在、県と協議し修正作業を進めている。



▲スピードスプレーヤー

その他の質問

- 市職員の兼業について
- 照明機器のLED化について
- 広域災害に対するの応援・支援体制について
- 消防団操法大会について

る。②ドローンを用いて調査区域内にくくり罠を設置し、重川、日川合流点河川内でシカ4頭、イノシシ1頭、岩手橋付近河川内でシカ8頭の合計13頭を捕獲した。シカ等が確認された場所付近に、捕獲計画を策定し、計画に基づく捕獲活動を行う。河川管理者に対して河川内の環境整備を要望し、有害獣の生息場所の撲滅を図る。



問 令和8年度当初予算編成について

ふるさと納税寄附額は年々増加している（累計200億円以上）にも関わらず、予算配分においてその効果が見えにくい。市債発行を控え、将来負担比率を抑える緊縮財政方針のように捉えられる。

①来年度はどのような方針か伺う。②各課からの要望総額と、何に留意し優先事業を採択されたか伺う。③戦略的に成長分野として重点的に何に取り組むのか、目指す具体的な成果指標は何か伺う。

市長 高木晴雄

答 ①真に必要な施策を選択的に推進し、持続可能で健全な財政構造の確立を図る考えを

全な財政構造の確立を図る考えを

基本とし、その上で主要事業の着実な実施と、子育て・教育分野、道路・水路等のインフラ整備に予算を配分した。ふるさと納税は寄附の効果を分かり易く伝えるよう努める。②「一般財源枠配分方式」（各課上限枠を事前に提示）によって行い271億3,800万円余となった。上位計画に沿った主要事業を優先し、中でも学校給食費の無償化、義務教育学校の設置、アザレアタウン整備などを重点施策と位置づけた。③人口減少対策を重点施策と認識し、本市の第3期中期計画に内包した総合戦略を成長戦略としている。計画期間内（4年間）に転入者100人、出生者数200人を目指すなどの指標を掲げ取り組む。

問 アザレアタウン整備事業について

①進捗が予定通りであるか伺う。②年次毎の支出予定額と事業項目を伺う。③本事業にインセンティブ（移住を促す動機づけ）を与える」と議会答弁されて2年経過

するが示されていない。いつ示されるのか伺う。

市長 高木晴雄

答 ①予定通りであり、現時

点事業計画の変更やそれに伴う国の補助金及び市の助成金の変更を要する状況には至っていない。変更が必要となった場合には国や関係機関と協議して対応する。②5か年を1期間とする国の補助金を活用している。第1期の概算事業費は土地区画整理事業が約30億円、街路事業は約17億円を見込んでいる。進捗や国の補助金状況により変動する為、毎年度の当初予算編成で議会に示す。③令和11年度頃を目途に、最良のプランを示せると想定している。

問 クラインガルテン事業について

議会も賛否が分かれ市民からも否定的な声が寄せられ、成熟した議論が必要である。他にも目的を達成する手法も考えられ、費用対効果が不明瞭である。

①クラインガルテンでなければならぬ理由を伺う。②建物建築実施設計委託料1,780万円（令和7年12月議会可決）によって得られる設計成果はいつ示されるの

か伺う。③総額6億5,500万円（概算）の敷地造成と建物はどのようなものでいつ示されるのか伺う。④本市にもたらされる定量的（具体的）な効果は何か伺う。

市長 高木晴雄

答 ①継続性・定着性・公益性の面から優位であると考

える。②簡易宿泊施設11棟、集会施設1棟の建築で設計期間は概ね8か月を見込んでいる。③敷地造成は実施設計に取り掛かっており、防護柵を設置した段々形状。建物はいずれも木造平屋を検討しており、詳細は実施設計後に示す。④指標を設定し、効果を定期的に検証する。

＜その他の質問＞

○令和8年度の補正予算（予定）について

○まちづくり公社設立事業について

○各種補助金・助成金・支援金などについて

○義務教育学校「笛川学園」について

一般質問



天野有紀 議員

尚志会

問 世界農業遺産のまちにおける担い手戦略について

耕作放棄地や優良農地の承継を、実効性ある仕組みで推進すべきと考える。兼業就農者も含めた多様な担い手育成、技術継承体制の強化、ふるさと納税を担い手定着へ戦略投資する方針を伺う。

市長 高木晴雄

答 現在、農地中間管理機構を通し賃貸借契約を結ぶことにより、農地の有効活用を促進しているが、新規就農者に対して

期間限定で貸し出すような農地継承の仕組みについても、農地の有効活用や担い手確保の観点から意義あるものと考えている。一方で、農地の適正管理、権利関係、利活用の公平性などの課題もあり、現在の制度・実情を精査し、実施可能な仕組みを研究していく。

令和8年度より果実栽培技術講習会を計画しており、農業初心者向けの実践的な技術習得を目指すプログラムを提供する予定である。新規就農者はもとより、多様な

な担い手が高品質の栽培技術を習得できるよう支援していく。

ふるさと納税財源を利用し、新たに「山梨市農業用機械等購入及び施設整備支援補助金」制度の創設を予定している。要件については、収入などの制限は行わない。

問 有害鳥獣処理施設の整備および運営について

建設に係る市負担額と運営に係る収支、販売不関与の妥当性、黒字時の還元制度について伺う。

農林課長 根津昭彦

答 建設に係る市負担は1億1896万円余であり、そのうち70%が交付税として措置される。運営費は年580万円余の見込みである。販路確保などの理由から指定管理者を中心で運用し、加工販売において黒字時は利

用料で還元の予定である。

その他の質問

○山梨市デマンド型交通について

○本市の英語教育とスーパーバイザーについて



糠信平 議員

日本共産党

問 国からの給食費補助金の有効利用について

国の予算通過後に入る小学校給食費補助額相当分を修学旅行費補助等の子育て施策に使うべきで、学校給食無償は公立・私立とも対象とすべきだが、市の考えを伺う。

教育長 竹川和彦

答 修学旅行補助を実施する場合、新たに経常的な多額の予算を要する事となる。より優先的に予算を振り向けるべき施設・設備の修繕や整備等が順次予定されており、慎重に検討しなければならぬ。私立小中学校の児童生徒への補助については、新たな予算確保が必要となるが、各私立学校の給食実施状況を精査したうえで、公平な支援を行う為の申請・確認方法を整え、前向きに検討する。

問 会計年度任用職員の雇用状況について

雇用安定のため民間には非正規雇用5年ルールがあるが、本市における会計年度任用職員の割合が

全国平均より高い現状について市の考えを伺う。また、採用試験の改善について、市の考えを伺う。

市長 高木晴雄

答 5年以上の雇用期間となつている会計年度任用職員の割合は49%である。需要変動への即応、専門性のスポット活用、財政の持続可能性の確保、市民サービス拡充等に対応するため、会計年度任用職員制度を活用して柔軟な人事配置を行っている。会計年度任用職員の経験を活かす採用試験については、即戦力として有為な人材確保に有効であり、常勤化にもつながるため、制度導入の具体化に向けて検討を進める。

その他の質問

○診療報酬・介護報酬改定の見解と市独自施策について

○投票率と主権者教育について





根津和博 議員

新翔会

問 関東富士見百景を活用した観光振興について

①市内の富士見スポットの観光資源としての位置付けについて伺う。②富士見百景と周遊観光を繋げ「富士山の見え方」を軸とした観光振興について今後の方向性を伺う。

市長 高木晴雄

答 ①国土交通省関東地方整備局が認定した関東富士見百景は関東全域で1288スポットがあるが、そのうち本市では11か所が認定されており、重要な観光資源として位置付けている。②本市のホームページで「関東富士見百景を巡る旅」として、帯那山から大平高原までの全11コースを巡るモデルコースを掲載するとともに、選定地の魅力や周辺の見どころも紹介している。今後も「桃源郷と富士」という本市ならではの富士山の眺望を最大限活用し、観光振興に努める。

問 市営温泉の活用と持続可能な運用について

①市営温泉が果たす市民サービスの役割と意義について伺う。②赤字が続く要因を伺う。③今後、観光のみならず市営温泉を持続可能にしていこう考えを伺う。

観光課長 武川淑人

答 ①日常的な温浴やリハビリの利用を通じた健康増進の拠点、市民の交流・憩いの場としての機能を有している。②地域の人口減少に加え、燃料費の高騰施設の老朽化に伴う維持管理経費の上昇が挙げられる。③今後、市営3温泉は、健康増進・交流・観光・地域経済への波及も踏まえ、民間ノウハウの活用や運営方法の見直しにより効率化を図る。

その他の質問

○中央本線沿線の山々を活かした登山観光の推進について
○山梨市の将来に向けたリゾート施設構想について



▲彩甲斐公園



島村雅美 議員

赤松の会

問 市営住宅への学生の受け入れについて

①現在の国土交通省への目的外使用承認の申請の進捗状況を伺う。②今後入居申し込みが増えた場合、受け入れる部屋数を増やすことが可能か伺う。

市長 高木晴雄

答 ①12月下旬に山梨県を経由し関東地方整備局へ目的外使用承認の申請を行い、2月6日に承認を得た。②空室状況や本来の入居対象者の申し込み状況により、改めて関東地方整備局と協議を行い、承認を受けたうえで部屋数を増やしていく。

問 市消防団ドローン隊結成について

市消防団の活動の効率化と安全確保のためにも、ドローン隊を速やかに立ち上げ有効活用することが重要である。

①現在の準備状況と、どのような体制を考えているのか伺う。②ドローン隊をどのように活用し役立てたいと考えているのか伺う。



▲市消防団の訓練の様子

防災危機管理課長 星野正裕

答 ①隊員候補者10名を選定し、安全運航に必要な操縦技能資格と安全運航管理者の講習を受講し、全員が資格試験合格したことにより、パイロットの確保が完了している。併せて、市販の小型高性能ドローン機体を6機購入し、運航訓練を実施している。②火災現場における有効活用はもちろん、災害対応や行方不明者・遭難者の捜索など様々な状況下で使用することを想定し、準備を進めている。

その他の質問

○山梨市ジビエ軟化処理等施設建設事業について
○笛川中学校校舎の増築・改修の基本設計業務について

一般質問



星野 洋 議員

サンリ・みらい

問 令和8年度当初予算について

人口減少が進む中、大型事業を進めるうえで、市はどのように財源の措置を講じる考えなのか。併せて、今後見込まれる自主財源の動向についても伺う。

市長 高木晴雄

答 インフラ整備などの大型事業に要する経費は、原則として有利な国庫補助金や地方債を活用し、不足分や補助対象外経費に一般財源を充当する方針としている。また、今後の自主財源の動向については、定住人口の受け皿となるアザレアタウンの整備、移住希望者に対する支援やブランディング戦略による本市の魅力発信、子育て並びに教育環境の更なる整備・充実など、人口減少対策を総動員し、将来の自主財源の確保につなげる。

問 山梨厚生病院周辺の道路事業の進捗について

山梨厚生病院周辺の道幅は狭く、救急搬送車の通行に支障をき



▲山梨厚生病院周辺道路

たしていることから、アクセス性向上のためにも道路の拡幅整備が必要と考える。
山梨厚生病院周辺の道路整備の現在の進捗状況について伺う。

答 現在、事業を進めている区間は、国道140号の交差点から西関東連絡道路の側道までの第1期工区の約280mの間で、道路の測量・設計が完了している。令和8年度は地元区及び関係地権者への説明会と用地測量や補償物件の調査委託を実施する計画で、この委託の成果を基に道路用地取得のため、関係地権者との交渉に入る予定である。

その他の質問

○市所有の未利用地について
○都市計画と農業振興の調和の取れたまちづくりについて



矢崎和也 議員

新翔会

問 山梨市地域ブランディング戦略について

①本戦略の推進体制と優先的に着手する主要施策を伺う。②掲げるプロモーションを、どのように戦略的に推進するのか伺う。③市外や都市部から見た視点を、どのように反映するのか伺う。

市長 高木晴雄

答 ①地域特性を生かしたブランド力の向上を目指し、全庁を挙げて取り組む。また、今回作成したブランドメッセージとロゴを積極的に活用していく。②写真やメッセージを公募する「魅力発掘キャンペーン」を実施し、地域資源や日常の魅力を可視化していく。また、首都圏のファミリー層や、二地域居住を志向するリモートワーカーを主要ターゲットとし、デジタルマーケティングを進めていく。③本年度実施した旅行意向調査に加え、アンケート・ヒアリングを継続的に実施し、併せてSNS投稿やデジタル広告の反応を本戦略に反映させ推進を

図ついで。

問 来年度税制改正による影響への対策と、自主財源の確保について

①個人住民税の税制改正による、本市業務全般への影響と対策を伺う。②収納率向上対策やその強化策について伺う。

税務課長 玄間達広

答 ①賦課住民基幹システムの改修が必要だが、準備を進めているので影響はないと考えられる。②収納率向上への対策として、口座振替やコンビニ収納、キャッシュレス決済等で納税環境を整えている。また、新たな取り組みとして市内滞納者を対象に、全課長による滞納整理班を編成し臨戸訪問を実施し成果を挙げたところである。



いろあふれるし、山梨市。

▲ブランドロゴ



岩崎友江 議員

尚志会

問 まちづくり公社設立について

①さかいまちづくり公社は、商品の開発、顧客開発、体制整備、人材育成の支援に成功している。さかいまちづくり公社の成功要因の分析について伺う。②来年度予算において、本市のまちづくり公社の設立に向けた事業経費が計上されているが、どのような目的で検討していくのか伺う。

市長 高木晴雄

答 ①移住者支援、子育て・教育支援の積極的な取り組みにより、人口増加、財政状況は大幅な改善、実現を達成している。

②まちづくり公社による「公共性」と「収益性」の相乗効果を最大限引き出し、本市の有する自然や高付加価値果樹などの資源を磨き上げ、市の発展に寄与すると考える。

問 森林セラピー基地の事業について

「森林セラピー」は、ハイキングでも登山でもなく、健康のための森林浴のことでもある。

①導入面接及び終了面接を行うための部屋が必要であると考えられているかが。②セラピーロードの案内板やピクトグラム、ベンチの整備、森林安息所の確保等、整備が定期的に実施されているのか伺う。③山梨市森林セラピー推進協議会が主体でガイドの育成を担っているが、人材育成費用の助成について伺う。

観光課長 武川淑人

答 ①面接時間に合わせ、プライベートの確保をする。②サイン案内板やベンチ、森林安息場所の安全確保等、環境整備に努める。③収支状況や事業計画を見直し、育成費用の助成を検討する。

〈その他の質問〉

○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について



▲森林セラピー基地



榎野雅敏 議員

赤松の会

問 ふるさと納税の戦略方針とその使い道について

ふるさと納税で確保した財源の活用について伺う。

市長 高木晴雄

答 寄附者の意向に応じて、「生活インフラの整備」、「産業経済の活性化」、「子育て・学校教育・福祉の充実」及び「その他市長が認めるもの」の4つの使途に活用されている。

問 笛吹川県下納涼花火大会について

花火大会をさらに魅力あるものとするため、ドローンショーの導入を提案するかが。観光課長 武川淑人

ドローンショーの導入は、

答 花火大会をより魅力的で革新的なイベントへと進化させる可能性が十分にあると考える。関係法令の確認を行い、費用対効果、安全管理など段階的に検討し、ドローンショーの実現可能性を総合的に判断する。

問 リニア新駅から本市への接続について

①県の構想では、リニア新駅と各市町村の拠点を結ぶ2次交通も整備することだが、本市のどこに接続する構想になっているのか伺う。②ルートの検討について、本市も何らかの形で関わっていくのか伺う。

市民課長 保坂真一

答 ①ルートや接続拠点については県が主体となつて検討を進めており、本市における接続箇所は現時点では具体化していない。②現在、関係自治体の担当職員で構成される「山梨県公共交通網再編研究会 地域内交通ワーキング」が立ち上がり、ルート等の検討が始まったところである。本市としても、同研究会及び地域内交通ワーキングに参加し、今後

も積極的に協議を進めていく。



▲笛吹川県下納涼花火大会

一般質問



清水和美 議員

赤松の会

問 若い世代に選ばれるまちを目指した本市の子育て施策について

今定例会における高木市長の所信表明で、若者の転出者抑制対策や若者に選択してもらえぬ魅力ある「まちづくり」を進める必要がある。次年度の予算を273億8,200万円と過去最大規模とする中で、特に子育て世代や教育分野への重点配分を行うと伺った。子育て世代への経済的な支援をわかりやすく打ち出す自治体が注目される一方で、移住や定住を考える若い世代は「困ったときに相談できる人がいるか」「子育てを一人で抱え込まなくて済むか」という点も大切にされる中、地域に寄り添い、相談や繋がりを大切にしてきた本市ならではの良さを今後どのように磨き、どのように発信していくのか、本市の考えを伺う。

市長 高木晴雄

答 本市は妊活応援事業、保育料等の無償化など、子育て

て世代の経済的負担を軽減する取り組みの積極的な実施と併せ、身近に相談できる体制の整備、地域の中で人と人との繋がりがりや子育てを支え合える環境づくり、さらに、電子母子手帳アプリを活用した情報発信の強化やデジタル技術を活用したDXの推進による子育て世代の利便性向上の強化を図っている。本市の魅力である取り組みを、様々なメディアを活用し、発信していく。

その他の質問

○周辺の生活環境や安全に支障を及ぼすおそれのある居住実態への対応について
○花かげの郷まきおかの使用料のあり方について
○本市における今年度の基金の資金運用について



▲山梨市たっちダイアリー by 母子モ



木内健司 議員

公明党

問 関係人口の創出について

先進事例を参考に、本市のふるさと住民登録制度の取り組みについて伺う。

市長 高木晴雄

答 国は令和9年度からスマートフォン等を活用し、

住所地以外の地域に継続的に関わる人々が登録できるふるさと住民登録制度の創設を進めている。これにより関係人口の可視化、継続的な接点づくり、参加履歴などのデータを蓄積し、地域活動へ誘導することを目的としている。運用開始を見据え、本市でも早期に準備を進めている。本制度は地方創生の観点からも重要な施策として全庁を挙げ積極的に取り組むとともに、関係団体等とも連携し、実効性のある施策展開に努めている。

問 奨学金返還支援補助金について

本制度の利用者等の実績と合わせ、本市における要件の緩和を求めらる。

企画推進課長 磯村賢一
答 令和7年度の申請者は12名179万円余の支出見込み。本制度は、市内事業者等への就職の促進と、市内への定着を図るために定めているものである。しかしながら、改めて他市の状況を調査し、就労先の要件緩和等について検証・検討する。

問 デュアルスクールについて

デュアルスクールとは、住民票の異動をすることなく地域の公立小中学校へ学籍を移動し、通学することが可能となる取り組みである。本市の他の施策と組み合わせ、移住定住促進、関係人口創出に有効と考えるが、市の見解を伺う。

学校教育課長 久保川貴教

答 デュアルスクールは魅力的な取り組みであると認識する。一方で解決しなければならぬ課題もあり、今後も引き続き研究を進める。





萩原弥香 議員
公明党

問 「山梨市手話言語の推進に関する条例」制定等について

今議会に上程されたことを、高く評価する。制定後はどう目標を掲げ取り組むのか伺う。
市長 高木晴雄

答 普及を図るためには、理解を深めるとともに、手話に触れる機会を広げていくことが重要である。今年度は市職員向け手話講座を2回開催した。今後市民や職員に対する普及啓発や講座の実施、当事者団体との連携による福祉講和会の開催、また学校や地域における理解促進の機会も提供し環境づくりにも努めていく。

問 重層的支援体制整備事業に伴う福祉支援策等について

「ふらっと」とよりみち相談会」令和6・7年度の実績について伺う。国の予算編成変更のようだが継続可能か伺う。

答 高齢者・介護支援課長 佐野和之
令和6年度は27会場で延べ504人が参加し、専門

職・管理栄養士が受けた相談は239件、うち9件が継続支援につながった。令和7年度は24会場で延べ562人が参加し、相談70件、うち13件が継続支援につながっている。国は国庫補助率を引き下げる方針だが、本市は事業開始3年目に当たる為、前年度べーすで交付金を受けられる見込みであり、前年度同様形態での事業継続は可能である。

問 個別避難計画の作成等について

個別避難計画作成に、国は加速推進を促す。避難行動要支援者名簿記載は何名か伺う。新年度計画作成をどう取り組むのか伺う。
防災危機管理課長 星野正裕

答 名簿は合計2,229名の登録がある(令和8年3月1日現在)。うち計画作成に同意している方は714名である。速やかに、介護保険事業者等のご協力も得ながら進める。

その他の質問

○DXを活用した道路損傷等の通報について



▲市防災マニュアル・ハザードマップ等



長沼和人 議員
尚志会

問 教職員の働き方改革の「実施計画」策定について

現場の実態を的確に捉え、施策へ着実に反映し、本来の業務に専念できる環境の実現について伺う。

①残業時間の縮減に向けた目標達成について②現場が真に求めている支援の具体的な方策について
教育長 竹川和彦

答 ①令和7年6月の「公立職員の給与等に関する特別措置法」改正により、業務量管理・健康確保措置実施計画の策定が義務付けられ、本市では令和8年2月に計画を策定し、4年間で取り組みを進めている。策定にあたっては学校長の意見や勤務実態を分析し反映した。その結果、小学校は月平均約33時間、中学校は約57時間の時間外在校等時間となり、中学校では80時間超が21.1%と深刻な状況であった。これらを踏まえ、80時間超ゼロを目標に業務の見直しを進め、外部相談窓口や部活動の地域移行、自動採点導入などに

より負担軽減を図り、本来の業務への集中を目指す。さらに教職員が安心して働ける環境整備にも努めていく。②教職員の健康確保と教育の質の維持には十分な休息が不可欠であり、本市では三点を柱に取り組んでいる。一点目は放課後活動や日課の見直しによる拘束時間の縮減、二点目は定時退校日やMY定時退勤日の推進による意識改革、三点目は出退勤管理に基づく管理職のマネジメント強化と教育委員会の伴走支援である。これにより、通勤時間を除き最低11時間の勤務間インターバル確保を図り、教職員が健康でいきいきと働ける環境の実現を目指す。

その他の質問

○本市の人口減少施策の取り組みについて

○個別避難計画の策定について
○こども誰でも通園制度について



▲山梨南中学校

委員会報告

総務常任委員会

付託議案

議案第6号	山梨市旧市役所跡地多目的広場設置及び管理条例について
議案第7号	山梨市長等の分限に関する条例の一部を改正する条例について
議案第8号	山梨市特殊勤務手当及び旅費条例等の一部を改正する条例について
議案第9号	山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
議案第14号	山梨市人事行政の運営等の状況の公表を改正する条例について
議案第15号	山梨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第16号	山梨市情報公開条例の一部を改正する条例について
議案第17号	山梨市情報公開条例の一部を改正する条例について
議案第26号	山梨市情報公開条例の一部を改正する条例について
議案第27号	(1)議会議費(2)総務費(統計調査費除く)(3)民生費(国民年金事務取扱費)(6)農林水産業費(地籍調査費)
議案第29号	(8)土木費(水防費)(9)消防費(10)公債費(11)諸支出名(14)予備費
議案第34号	第2表「遊覧費」第3表「地方債」
議案第35号	令和8年度山梨市国民健康保険特別会計予算 関係付託部分
議案第40号	令和8年度山梨市交通・防災・災害共済事業特別会計予算
請願第1号	令和8年度山梨市西保財産区管理会特別会計予算 山梨市過疎地域持続的発展計画の策定について 所得税法第56条廃止に関する意見書の提出を求める請願書

○議案第26号 令和8年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 歳入21款市債1項市債のうち、過疎対策事業債について、過疎債を活用する新年度事業と、当該市債のメリットについて伺いたい。

答 当該市債を活用できる事業は、『山梨市過疎地域持続的発展計画』に掲げた事業とされており、令和8年度における事業は、有害鳥獣処理施設整備事業、デマンドバス運行事業、西沢溪谷線の市民バス運行事業、道の駅管理運営事業である。なお、一般の計画の改定により、新規事業として笛川学園整備事業を計画に掲載する予定である。過疎債のメリットは、対象経費の100%まで、原則、充当が可能であり、なおかつ、元利償還金の70%が、国から地方交付税として市に交付されるという財政優遇措置がとられる点

である。

問 歳出2款総務費1項総務管理費のうち、人口減少対策経費について、公共交通利用通学者支援事業に、早朝特急利用通学者への補助が新設されるが、詳細を伺いたい。

答 本市から県外の大学等へ電車を通学している人への『通学定期券購入費用』の一部補助事業において、これまで補助対象ではなかった『早朝特急券』購入費を片道分について補助対象とするものである。なお、申請にあたっては、領収書を添付していただく予定である。

問 歳出2款総務費1項総務管理費のうち、駅南口周辺整備構想事業



▲総務常任委員会での審査の様子

経費について、山梨市駅南口周辺整備の進捗を、多くの市民が期待している。整備に向けた構想や計画の策定に、多くの時間を要する理由について伺いたい。

答 当該土地は、市の土地であると同時に、『市民の皆様との土地である』との認識に立ち、事業を進めている。大切な土地であるがゆえに、新たな空間の将来のあるべき姿をしっかりと整理する時間をいただきたい。市民の声を基に、民間ニーズを掴むため、今後の1、2年が非常に重要な時間になると考えている。

問 歳出2款総務費1項総務管理費のうち、庁舎等維持管理経費について、各課への直通電話など、今後の市役所における電話機能更新に関する考えについて伺いたい。

答 電話については、クラウドPBXという、インターネット経由で電話機能を利用するシス

- 総務常任委員会
- ◎岩崎 友江 ○糠信 平
 - 清水 和美 萩原 弥香
 - 藤巻 豊彦 村田 浩

テムに変更する予定である。現在庁内において試行中であり、従来の回線と併用しているが、秋ごろには本格導入したい考えである。なお、その際には、各担当への直通番号も用意する予定である。

※現地調査として、移住体験・サテライトオフィス事業に活用されている上神内川地内のエコハウスと、防災対策事業に係る市役所敷地内の防災倉庫の視察を行った。



▲総務常任委員会視察の様子

建設経済常任委員会

付託議案

- 議案第12号 山梨市戸別合併処理浄化槽の管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第13号 山梨市準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例について
- 議案第26号 令和8年度山梨市一般会計予算 関係付託部分
(2)総務費(統計調査費)(4)衛生費(簡易水道事業会計繰出金・簡易水道事業企業団受水費繰出金)(5)労働費(6)農林水産業費(地籍調査費除く)(7)商工費(8)土木費(水防費除く)(11)災害復旧費 第3表「地方債」
- 議案第30号 令和8年度山梨市浄化槽事業特別会計予算
- 議案第33号 令和8年度山梨市活性化事業特別会計予算
- 議案第36号 令和8年度山梨市水道事業会計予算
- 議案第37号 令和8年度山梨市簡易水道事業会計予算
- 議案第38号 令和8年度山梨市下水道事業会計予算
- 議案第41号 山梨市道の路線認定及び変更について

建設経済常任委員会

- ◎根津 和博 ○長沼 和人
- 榎野 雅敏 星野 洋
- 矢崎 和也 深沢 敏彦

○議案第26号 令和8年度山梨市一般会計予算 関係付託部分について

問 歳出6款農林水産業費1項農業費のうち、クラインガールン整備事業経費約2,060万円の内訳について伺いたい。

答 国の交付金活用に向けた事業計画書策定業務委託費用860万円余と、サーキット場からの進入路整備に向けた用地確保等の費用として1,200万円を計上している。

問 歳出6款農林水産業費1項農業費のうち、団体営土地改良事業及び県営畑地帯総合整備事業における、本市の費用負担比率について伺いたい。

答 準地区で行う団体営土地改良事業については、事業費の35%が市の負担となるが、当該負担部分に公共事業等債を活用することにより、財政負担を軽減することとしている。また、市内8地区で並行して実施している県

営畑地帯総合整備事業については、基本的に各事業費の25%が市の負担となるが、そのうち、北原地区だけは中山間地域に該当していることから、市の負担は20%となっている。

○議案第33号 令和8年度山梨市活性化事業特別会計予算について

問 温泉施設の利用者について、市民と市外の人の内訳を伺いたい。また、利用者数の増加に向けた取り組み状況について伺いたい。

答 温泉施設の利用者は市民が約8割、市外の人が約2割となっている。

利用者の増加に向けた取り組みとしては、県内外で観光PRを行う際に



▲建設経済常任委員会での審査の様子

温泉施設のパネルフレットや温泉の素を配布することで認知度の向上を図っているほか、施設の清掃やあいさつなどの基本的なサービスを徹底することで、満足度の向上とリピーターの確保に努めている。

○議案第38号 令和8年度山梨市下水道事業会計予算について

問 現在整備を進めている、し尿等処理施設の稼働開始時期について伺いたい。

答 令和9年1月に試運転し、同年2月に稼働できるように整備を進めている。

要望事項として、まず農業用機械等購入及び施設整備支援補助金事業について、農業振興の更なる促進や新たな担い手の育成と定着を図る観点からも、より多くの農家がこの事業を活用できるように、対象者や作付品種等の要件を緩和していただくほか、対象となる農業用機械の種類を拡充していただきたい。また、アザレアタウン整備事業

の約123億円に上る総事業費について、事業費の削減を常に意識するとともに、事業内容や事業費に変更等が生じる場合は、議会への説明・報告を要望する。

最後に、都市計画マスタープランの見直しにあたっては、地域の活性化に向けた施策の展開に繋がる実効性のあるものとする事と併せて、限られた土地を有効に活用していくために必要となる土地利用調整施策や関連する規制の緩和について、研究していただくことを要望する。

※現地調査として、彩甲斐公園遊具更新事業実施箇所と、ジビエ軟化処理等施設建設事業実施箇所の視察を行った。



▲建設経済常任委員会視察の様子

委員会報告

教育民生常任委員会

付託議案

- 議案第3号 山梨市手話言語の普及の推進に関する条例制定について
- 議案第4号 山梨市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について
- 議案第11号 山梨市家庭児童相談設置条例を廃止する条例について
- 議案第26号 令和8年度山梨市一般会計予算 関係付託部分
- 議案第27号 議案第26号 (2)総務費(統計調査費)(3)民生費(国民年金事務取扱費除く)(4)衛生費(簡易水道事業会計繰出金・簡易水道事業企業団受水費繰出金除く)(10)教育費第3表「地方債」
- 議案第31号 令和8年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算 関係付託部分
- 議案第32号 令和8年度山梨市国民健康保険特別会計予算 関係付託部分
- 議案第39号 令和8年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計予算
- 議案第43号 山梨市民スポーツ広場設置及び管理条例の一部を改正する条例について

教育民生常任委員会

- ◎木内 健司 ○天野 有紀
- 向山 輝 遠山 雄二
- 島村 雅美 土屋 裕紀

○議案第3号 山梨市手話言語の普及の推進に関する条例制定について

問 条例制定に伴い、来年度予算化されている事業があるのか伺いたい。また、今年度職員に向けて行った手話講座への参加人数を伺いたい。

答 来年度予算化されているものはなく、今年度も実施をしている広報活動や、職員向け講座の実施、また、市民に向けた出前講座、学校での福祉講話等を活用した手話に触れる場づくりなどを検討している。今年度、職員向けに行った2回の手話講座については、1回目が15人程度、2回目が25人程度の約40人の参加があった。

○議案第26号 令和8年度山梨市一般会計予算 関係付託部分について

問 歳出10款教育費1項教育総務費のうち、英語教育

スーパーバイザー雇用による経費について、外国人英語専科教員に対するスーパーバイザーの雇用について、どのような理由で雇用するのか伺いたい。

答 現在、外国人英語専科教員が授業を行っていているが、授業の評価が十分にできていないか、また、人事管理が問題なく行われているのかなどの課題があった。そのため、直接英語で指導、管理が行えるスーパーバイザーの雇用により、課題の解消に努めたいと考えている。

問 歳出10款教育費6項体育館大規模改修工事費について、市民総合体育館の大規模改修工事のうち、北側と西側の整備

事業はどのような整備を行うのか伺いたい。

答 体育館の北側、西側は敷地造成と、雨水など排水設備工を実施し、駐車場等に整備する計画となっている。

問 歳出3款民生費2項児童福祉費のうち、子育て支援事業経費について、来年度、子育てDX事業で実施する予定の内容を伺いたい。

答 来年度は、母子手帳交付の予約時に、母子手帳アプリに登録していただくことで、アプリで子育て応援ギフトの申請や、妊婦に向けた情報発信ができるようにしていく。また、乳幼児健診や予防接種をマイナポータルと連携していくための健康管理システムの標準化及び児童相談と母子保健での相談を一括で管理ができるよう、児童相談所との連携を見据えた児童相談システムの改修をしていく予定である。

要望事項として、学童クラブの

待機児童について、学童クラブは保護者の就労等により、日中家庭での養育ができない子どもに対し、遊びや生活を支援することを通して、子どもの健全育成を図るための非常に重要な事業である。学童クラブに子どもを通わせられないことにより、保護者が就労できないなど、子ども、保護者が不利益を被ることがないように、こども・子育て課だけではなく、市民生活に直結する事から、全庁的な課題と捉え、早期解決ならびに再発防止に向け努めるよう、委員会の総意として強く申し入れる。

※現地調査として、後屋敷学童クラブと、解体予定のある後屋敷小学校のプール視察を行った。



▲教育民生常任委員会視察の様子



▲教育民生常任委員会での審査の様子

議会活動日誌

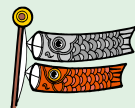
3月

- ・令和8年3月定例会（2月24日～3月24日）
- ・市内中学校卒業式（11日）
- ・市内小学校卒業式（19日）
- ・山梨市誕生21年記念式（19日）
- ・第49回春季山梨市少年野球大会（22日）
- ・牧丘西保第二スポーツ広場完成式（28日）
- ・令和7年度山梨市中小企業労務改善協議会
永年勤続優良従業員表彰式（29日）



5月

- ・西沢溪谷山開き山岳指導所開所式（29日）
- ・山梨市ちどりクラブ通常総会（15日）
- ・山梨市都市計画審議会（18日）
- ・第54回山菜まつり（24日）
- ・山梨市固定資産評価審査委員任命式（25日）
- ・第102回全国市議会議長会定期総会（27日）
- ・山梨市自衛隊協力会定期総会（27日）
- ・山梨市中小企業労務改善協議会総会（29日）



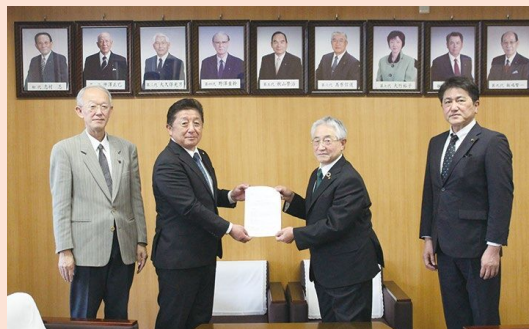
4月

- ・議会事務局職員・書記兼任・解任発令交付式（1日）
- ・信玄公祭り山梨市隊出陣式（4日）
- ・市内小学校入学式（7日）
- ・市内中学校・笛川学園入学式（8日）
- ・日下部小学校入学式（9日）
- ・万葉うたまつりとホテル観賞会実行委員会（9日）
- ・笛川学園開校式（10日）
- ・令和8年度山梨市スポーツ協会総会（17日）
- ・第275回山梨県市議会議長会定期総会（22日）
- ・山梨市文化協会令和8年度定期総会（22日）
- ・第92回関東市議会議長会定期総会（23日）
- ・令和8年度山梨県弁護士会交歓会（24日）
- ・北富士駐屯地創立66周年記念行事（25日）
- ・議会運営委員会（28日）
- ・議員全員協議会（28日）
- ・議会だより編集委員会（28日）
- ・令和8年度山梨市民生委員児童委員協議会定期総会（28日）
- ・山梨市デマンド交通愛称発表・新車両お披露目会（28日）
- ・巨峰の丘マラソン大会実行委員会（28日）



議員活動報告

令和7年6月定例会において、「議員定数検討特別委員会」を全議員の構成により設置しました。3回にわたり議論を交わした結果、「定数を削減すべき」とする意見が多数を占め、令和8年3月23日に矢崎和也委員長から向山輝議長に検討結果を報告しました。



▲定数削減の検討結果報告の様子

6月定例会開催予定

- 6月1日(月) 本会議（開会）
- 17日(水) 本会議（代表質問）
- 18日(木) 本会議（一般質問）
- 19日(金) 常任委員会（総務）
- 22日(月) 常任委員会（建設経済）
- 23日(火) 常任委員会（教育民生）
- 29日(月) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



追悼

四月、こども・子育て課長の渡邊輝昭様のご逝去されました。渡邊様は三月三十一日まで議会事務局次長として我々議員と最も近い存在であり、時には無理な相談にも的確な指導・助言をしていただき、議員にとって頼りになる兄貴のような存在でした。

若くして課長昇進を果たし、これからの嘱望される存在だっただけに、市議会としても残念でたまらない気持ちです。渡邊様のご遺志を引き継ぎ、山梨市の発展と議会活動の充実に向け、精進してまいります。議員一同心よりご冥福をお祈り申し上げます。



合掌